

# CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

(仮称)BELISTA皆実町  
※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳							
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>										
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 住宅性能等級4	3.0 5.0 5.0	0.08 0.43 0.49	Q1 室内環境 LR1 エネルギー	2 温熱環境 1 建物の熱負荷抑制	2.1 室温制御	3 外皮性能				
	小計	4.8	0.36							
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 窓からの有効的な採光、通風がされている。	3.0 3.0	0.50 0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用 2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用 2.2 自然エネルギーの変換利用					
	小計	3.0	0.09							
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 照明器具に制御が設置されている。 エコキュート設置	5.0	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化						
	小計	5.0	0.18							
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	0.0 0.0	0.00 0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用 4 効率的運用	4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制					
	小計	0.0	0.00							
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水の取り組みがある。 節水型便器設置	4.0 3.0 0.0 2.0 3.0 4.0 3.0 2.0 3.0	0.08 0.12 0.00 0.06 0.19 0.16 0.16 0.04 0.19	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護 1 水資源保護 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水再利用 1.2 雨水利用・雑排水再利用 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 駆体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					
	小計	3.1	0.26							
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 CO2の排出されにくい設計になっている。	4.9	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮						
	小計	4.9	0.11							
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>										
	4.3	0.72								
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>										
<b>2.1 溫熱環境の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 高低の植栽で、放熱を緩和している。	2.0 3.0 3.0	0.49 0.24 0.27	Q3 室外環境(敷地内) Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境	1 生物環境の保全と創出 3 地域性・アメニティへの配慮 2 地域環境への配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上 2.2 温熱環境悪化の改善					
	小計	2.5	0.96							
<b>2.2 交通負荷抑制</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場を広く設計している。	4.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制 3 交通負荷抑制					
	小計	4.0	0.04							
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>										
	2.6	0.15								
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>										
<b>3.1 耐用性の向上</b>										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 劣化対策等級3 耐久性の高いものを使用している	3.0 3.0 5.0 5.0 2.0 3.0 5.0 3.0	0.47 0.12 0.09 0.09 0.04 0.03 0.06 0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数 2.1 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数	1 耐震性 2 免進・制振性能 1 駆体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げの更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔				
	小計	3.5	0.47							
<b>3.2 設備の更新性</b>										
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.17 0.17 0.11 0.11 0.22 0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性 2 給水配管の更新性 3 電気配線の更新性 4 通信配線の更新性 5 設備機器の更新性 6 バックアップスペース				
	小計	3.0	0.53							
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>										
	3.2	0.13								
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>										
		3.9								